

令和4年度有田市立保田小学校 スクールプラン

有田市学校教育方針

認め合い、学び合い、郷土を愛する子供の育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる
- たくましく健やかな体を育てる
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情を育む

保護者・地域の願い

- 知・徳・体のバランスがとれた児童
- 心身共に健康で、相手の立場を考えて行動できる児童
- 郷土に対する誇りや愛情をもつ児童

【学校教育目標】

生涯学習社会を生き抜く
たくましい児童の育成

【めざす学校像】

- ・学び合う学校
- ・安心・安全な学校
- ・地域とともにある学校

【めざす児童像】

- ・すすんで学ぶ子（知）
- ・思いやりのある子（徳）
- ・きたえる子（体）

前年度の学校評価

- 全体的に、落ち着いた授業が行われている。また子どもたちに活気があり、笑顔が良い。
- 学力向上・体力向上・交通安全意識向上については、一定の成果が見られる。
- 地域ぐるみで子どもを守るという意識を広げるため、協力要請やアピールを、さらに組織的に行う必要がある。

児童の実態

- 純朴で、明るく活気があり、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組んでいる。
- 基本的な生活習慣が不規則な児童や、望ましい人間関係の構築する力不足等から、いじめ問題に繋がる児童間のトラブルが発生することがある。
- 自主性、独立性、協調性の向上という点に弱さが児童見られるが、あいさつ運動や5分前行動等、課題意識をもち、児童会を中心にした自主的な取組が見られる。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎「主体的・対話的で深い学びのある授業」の推進
- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎家庭学習の確立
- ◎学校図書館教育の充実

具体的な取組

- 考えを広げ深めるために、対話的な活動を充実させる。
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底した授業を行う。
- 学習規律の徹底を図る。
- 朝学習及び定期的な漢字計算確認テストを実施する。
- 家庭学習の習慣化とともに、自主学習の定着を図る。
- 読み聞かせや読書の推進を図る。
- 読書好きな児童の育成に努める。

指標

- ・漢字計算確認テスト達成率90%以上
- ・児童、教師、保護者アンケートで肯定的な回答が85%以上
- ・学校図書館の個人貸出冊数が昨年より増加

豊かな心の育成

- ◎道徳教育・人権教育・特別活動の充実
- ◎望ましい集団づくり
- ◎環境整備

- 道徳教育の研修及び指導方法の工夫改善を行い、指導の充実を図る。
- 人権を主題とした学習活動に取り組み、児童理解の研修を実施する。
- 個々の児童がよりよい人間関係を築けるよう学級経営を行う。
- 学期に1回いじめアンケート・年間2回Q-Uアンケートを実施し、結果を生かした個々の指導支援に努める。
- 清掃や挨拶の励行等、学習環境も含めた環境整備に取り組む。

- ・いじめの見逃し件数0（ゼロ）
- ・Q-Uアンケートの学級満足度の向上
- ・児童、保護者アンケートで肯定的な回答が85%以上

健やかな体の育成

- ◎体力向上
- ◎基本的生活習慣の確立
- 健康教育の推進

- 系統立てた指導とともに、運動量を確保した授業づくりを行う。
- 学校全体で、「チャレンジランキング」への取組を充実させる。
- 「早寝・早起き・朝ご飯・眠育」運動を推奨する。
- 健康で安全な生活を送るために必要な基礎知識についての理解を深め、正しい認識を育む。

- ・授業改善、実践について教師アンケートの肯定的な回答が90%以上
- ・児童アンケートで肯定的な回答が90%以上
- ・スポーツテストD・E判定が20%以下

地域とともにある学校

- ◎学校・家庭・地域一体の教育活動
- ◎保幼・小・中連携及び関係機関との連携・協働
- 学校ボランティアや地域の教育資源活用

- 学校運営協議会の熟議を通して、学校・家庭・地域ができることを役割分担する。
- 保護者・地域の参画が可能な子どもの安全を確立する取組を進める。
- 地域の祭りへの参加、年長児との交流、地域の課題解決に向けた取組を行う等、学校を核として地域の活性化を進める。
- 学校通信・校長室便り・学校HP等を通して学校・地域全体で情報を共有する。

- ・各学年、年間2回以上の連携活動
- ・保護者アンケートで肯定的な回答が90%以上
- ・学校通信年間12回以上、校長室便り年間20回以上の発行

◎：特に重点的に取り組むこと